

会 議 録

会議の名称	行田市立図書館協議会	
開催日時	平成21年8月18日(火) 開会：14時00分 閉会：15時10分	
開催場所	図書館 ミーティングルーム	
出席者(委員)氏名	保泉委員長、長谷川副委員長、松井委員、大澤委員、東委員 小林委員、木島委員、阿久津委員、小川委員、島田委員	
欠席者(委員)氏名		
事務局	平井図書館長、吉田	
会議内容	(1) 平成20年度行田市立図書館事業報告について (2) 平成21年度行田市立図書館事業計画について ① 行田市立図書館当初予算概要について ② 行田市立図書館事業計画について ③ 行田市子ども読書活動推進計画について ④ 視察研修について (3) その他	
会議資料	(資料名・概要等) ①行田市立図書館協議会会議資料 ②図書館へようこそ(統計資料) ③世代間交流事業開催チラシ	
その他必要事項		
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	平成21年 8月27日	保泉欣嗣 ㊟

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事 務 局	市民憲章唱和 1 開 会 2 委嘱状の交付 保泉委員長 3 あいさつ 保泉委員長 4 自己紹介 委員及び事務局 5 議 事
事 務 局	（１）平成２０年度行田市立図書館事業報告について
事 務 局	「図書館へようこそ」（統計資料）を基に、平成２０年度の利用統計及び実施事業について事務局が説明を行った。
委 員	移動図書館はなぜ中学校には行かないのか。
事 務 局	中学生は自転車などを使い自由に図書館を利用することができるが、小学生の場合、行動範囲が限られ保護者などと一緒でなければ図書館に来ることができない地域もあるため、遠隔地の小学校を対象としている。
委 員	他の図書館との相互貸借はどのように行っているのか。
事 務 局	県内の公立図書館は、県立図書館が中心となり資料の貸し借りをを行う協力体制が整備されている。インターネットを活用した資料の検索や、定期的に各図書館を巡回する協力車の運行などにより、郵送料などを掛けることなく効率的に相互貸借を実施している。
委 員	資料の貸出実績は、他市の同規模の図書館と比較して多いのか少ないのか。
事 務 局	平成１９年度の実績で比較すると、本市の貸出冊数は 484,232 冊に対し、加須市は 239,426 冊、鴻巣市は 485,784 冊となっている。当図書館は、近隣の図書館の中では比較的新しい施設で、駐車場も十分確保されているため、市外からも多く利用されている。
委 員	秋山文庫・森尾文庫とはどのようなものなのか。
事 務 局	秋山文庫は行田市出身の文学者の秋山正香氏が寄贈した図書で、森尾文庫は同じく行田市出身の偉人森尾津一氏が寄贈した図

	書である。
	(2) 平成21年度行田市立図書館事業計画について
事務局	①行田市立図書館当初予算概要については会議資料の2～4ページを基に、②の行田市立図書館事業計画については世代間交流事業開催チラシを基に、③の行田市子ども読書活動推進計画については会議資料の5～6ページを基に、④の視察研修については会議資料の7ページを基に事務局が説明を行った。
委員	今年度の事業計画を議題とするなら、もっと早い時期に会議を開催した方がよいのではないか。
事務局	当初は7月に予定していたが、委員の変更に関わる手続きの関係からこの時期になってしまった。
委員	今年度図書館情報システムを更新したが、業者選定はどのように行ったのか。
事務局	業者選定は、見積額だけでなくシステムの内容も比較する企画提案コンペ方式で行った。結果として、システム内容はどの業者も一長一短あったが、見積金額に大きな差が出たため最終的に最安値業者に決定した。
委員	予算の中に委員報酬が組み込まれているが、個人的には報酬はいらないと思う。市全体で委員報酬を見直し、予算をもっと有効に使ったらどうか。
事務局	市の条例等に準じ支出しているが、そのような意見があったことを関係する部署に申し伝える。
	(3) その他
事務局	おかげさまで、今年度図書館情報システムが新システムに更新できた。これにより、検索速度が速くなりインターネットでのセキュリティも強化され利用者サービスの向上につながったことを報告する。
	6 閉会のあいさつ 長谷川副委員長